

経済動向調査のまとめ

令和6年度 第3四半期（10月～12月）

1. 兵庫県の景気動向

（令和6年12月19日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約）

① 景況

現状（良い-悪い）構成比（%ポイント）

区分	R6.3	R6.6	R6.9	R6.12	R7.3(予測)
全産業	14	15	14	13	6
大企業	19	16	17	17	14
中堅企業	10	17	14	12	6
中小企業	14	14	13	11	3
うち製造業	9	9	5	7	2
うち非製造業	21	23	25	19	11

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

企業の業況判断は、コロナ禍以降のピーク圏内で推移している。先行きは慎重な見方となっている。

② 需要

項目	R4年度	R5年度	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10
商業販売額:億円	18,529	19,168	1,628	1,733	1,701	1,550	1,570
（前年度比増減率%）	(+ 2.8)	(+ 3.4)	(+ 5.5)	(+ 1.3)	(+ 5.3)	(+ 0.2)	(▲ 0.5)
乗用車販売台数:台	144,966	156,197	13,013	13,980	11,918	15,348	14,187
（前年度比増減率%）	(+ 2.4)	(+ 7.7)	(▲ 4.2)	(+ 8.9)	(+ 6.0)	(+ 3.6)	(+ 5.1)
新設住宅着工戸数:戸	31,911	28,622	2,438	2,389	1,782	3,790	1,957
（前年度比増減率%）	(+ 6.9)	(▲ 10.2)	(+ 11.8)	(+ 0.9)	(▲ 36.3)	(+ 57.1)	(▲ 39.6)
神戸港輸出額:億円	73,695	75,219	6,436	6,440	5,921	6,130	6,511
（前年度比増減率%）	(+ 19.8)	(+ 2.1)	(▲ 0.8)	(▲ 0.2)	(▲ 2.4)	(▲ 8.4)	(▲ 0.2)

出所：商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	1.2	▲ 4.5	9.3	2.6	11.7
(R2年度比:R2=100)	(100.0)	(95.5)	(104.4)	(107.1)	(119.6)

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加計画にある。

③ 生産

項目	R4年度	R5年度	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9
鉱工業指数:R2=100	101.8	96.9	95.2	94.6	99.8	95.9	98.1
(前月比増減率%)	(+0.4)	(▲4.8)	(+5.2)	(▲0.6)	(+5.5)	(▲3.9)	(+2.3)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較

出所: 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。

④ 雇用

項目	R4年度	R5年度	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10
有効求人倍率(季節調整値):倍	1.03	1.02	0.97	1.01	1.02	1.01	1.02
新規求人数(原数値):人	29,795	28,838	26,766	29,461	25,906	27,323	31,458
(前年度比増減率%)	(+5.5)	(▲3.2)	(▲8.6)	(+2.0)	(▲3.0)	(▲6.8)	(▲1.4)
雇用者所得計:億円	5,510	5,719	8,498	6,631	5,196	5,107	-
(前年度比増減率%)	(+3.2)	(+3.8)	(+7.9)	(+0.6)	(+7.1)	(+6.0)	(-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所: 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫県労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

⑤ 金融

項目	R4年度	R5年度	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11
企業倒産件数:件	368	568	51	40	34	49	47
(前年度比増減率%)	(+11.9)	(+54.4)	(+59.4)	(▲11.1)	(▲29.2)	(+2.1)	(▲23.0)
企業倒産負債総額:億円	649	6,808	31	29	13	41	24
(前年度比増減率%)	(+120.5)	(+948.6)	(+308.9)	(▲27.7)	(▲99.8)	(+22.5)	(▲50.9)

出所: 兵庫県企業倒産状況 (東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、増勢が鈍化している。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

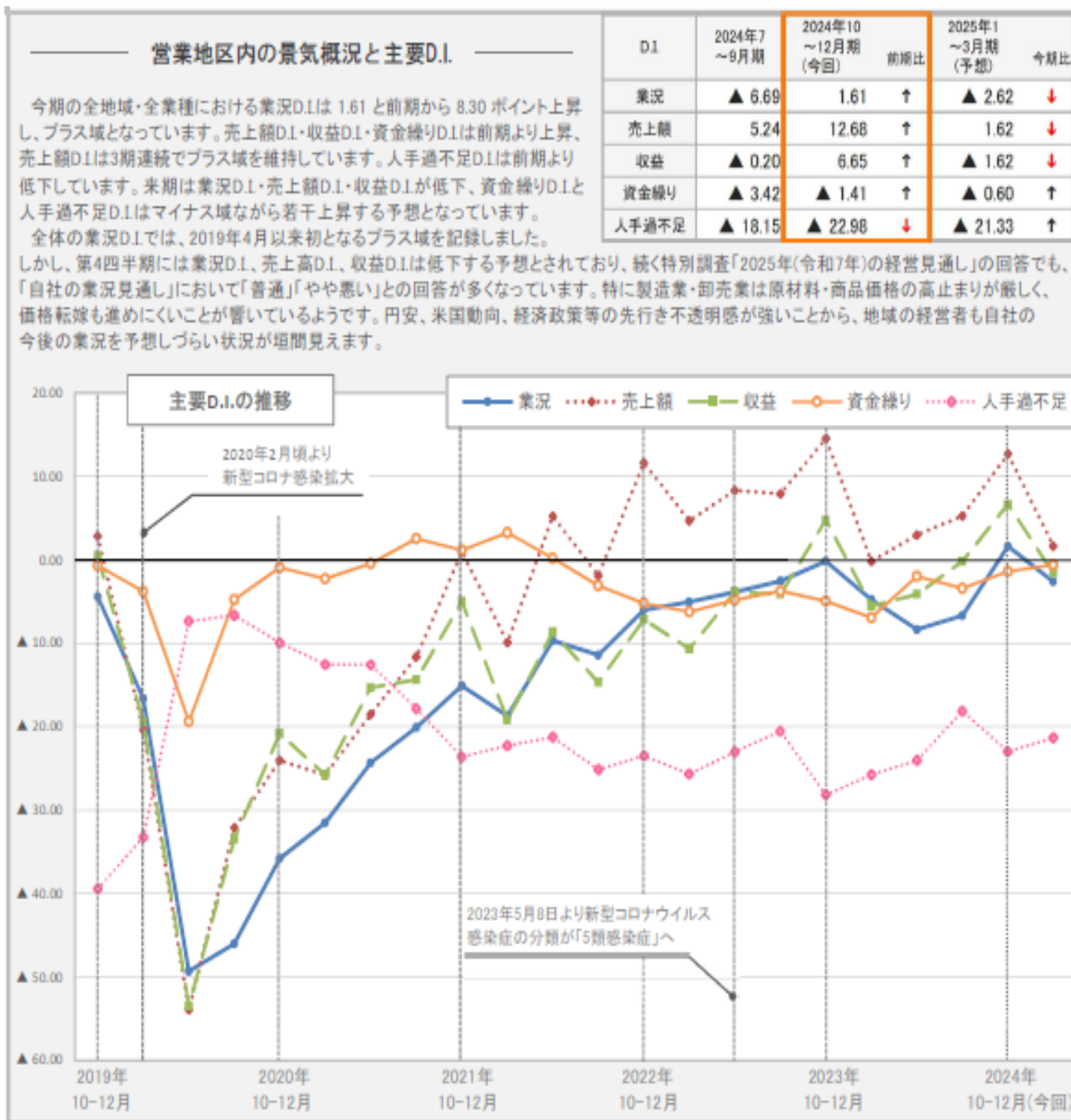
こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和6年12月13日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

1. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2024年 10~12月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

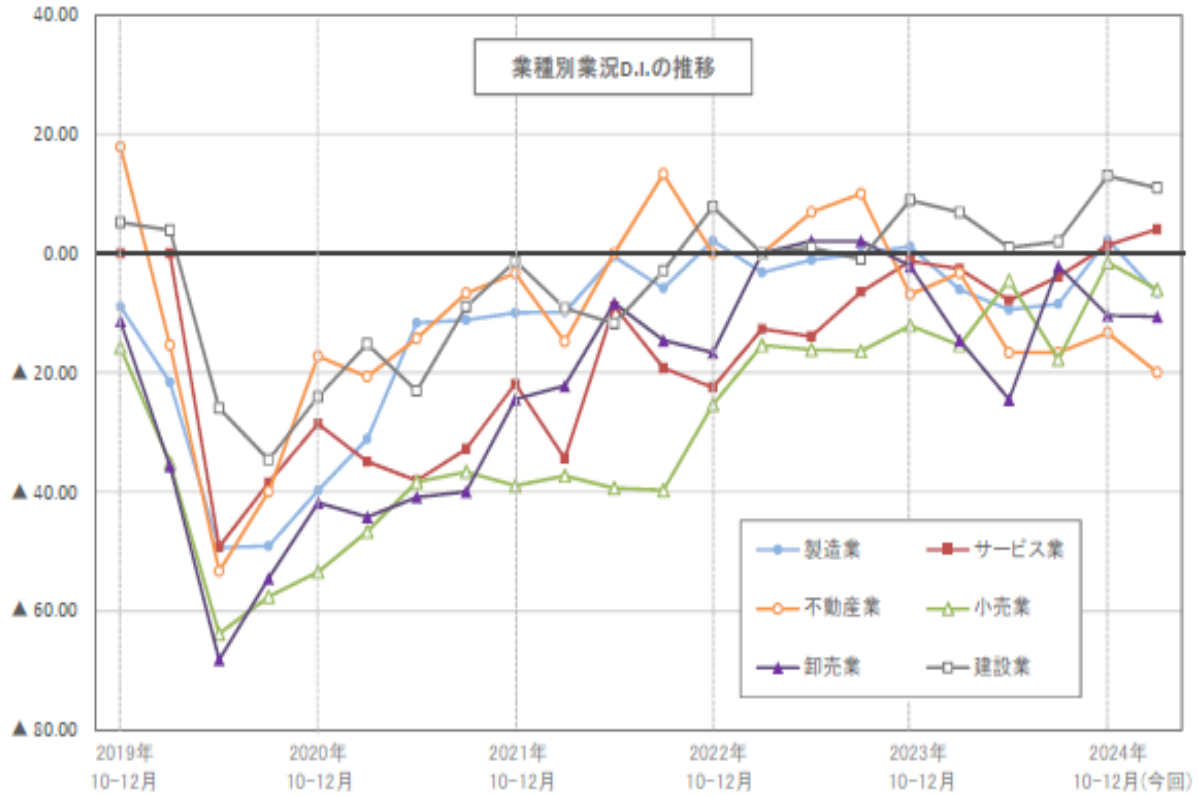


(回答企業 498社) (回答率 97.5%)

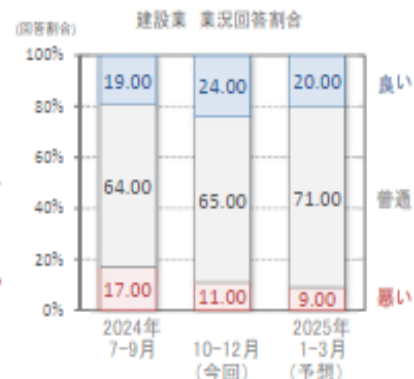
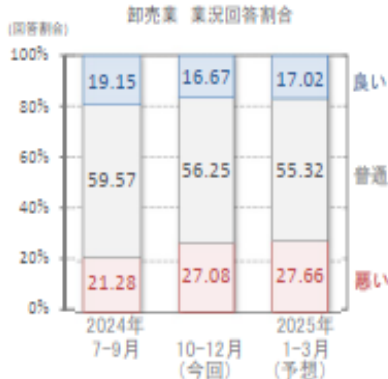
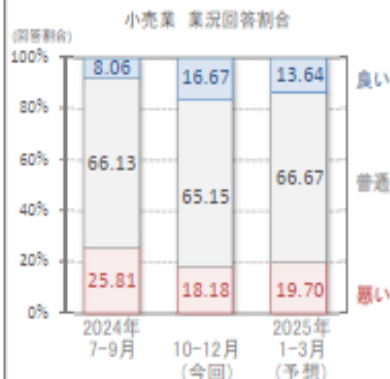
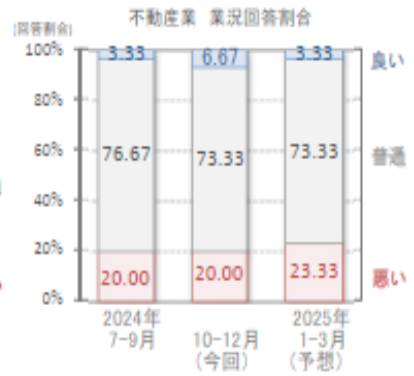
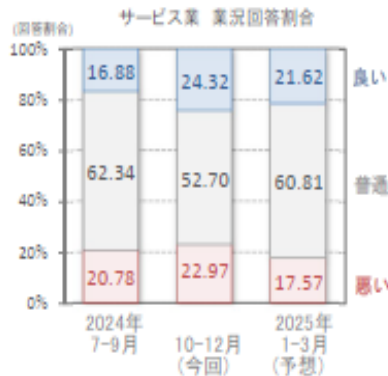
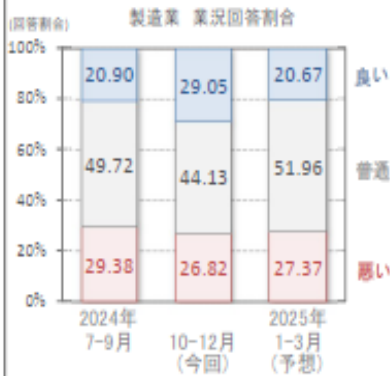
営業地区内業種別業況D.I.

業種別では、製造業・サービス業・不動産業・小売業・建設業が前期から上昇し、卸売業は低下しています。来期は、サービス業が上昇、製造業・不動産業・小売業・卸売業・建設業が低下する予想となっています。

業種	2024年7～9月期	2024年10～12月期(今回)	前期比	2025年1～3月期(予想)	今期比
製造業	▲ 8.47	2.23	↑	▲ 6.70	↓
サービス業	▲ 3.90	1.35	↑	4.05	↑
不動産業	▲ 16.67	▲ 13.33	↑	▲ 20.00	↓
小売業	▲ 17.74	▲ 1.52	↑	▲ 6.06	↓
卸売業	▲ 2.13	▲ 10.42	↓	▲ 10.64	↓
建設業	2.00	13.00	↑	11.00	↓



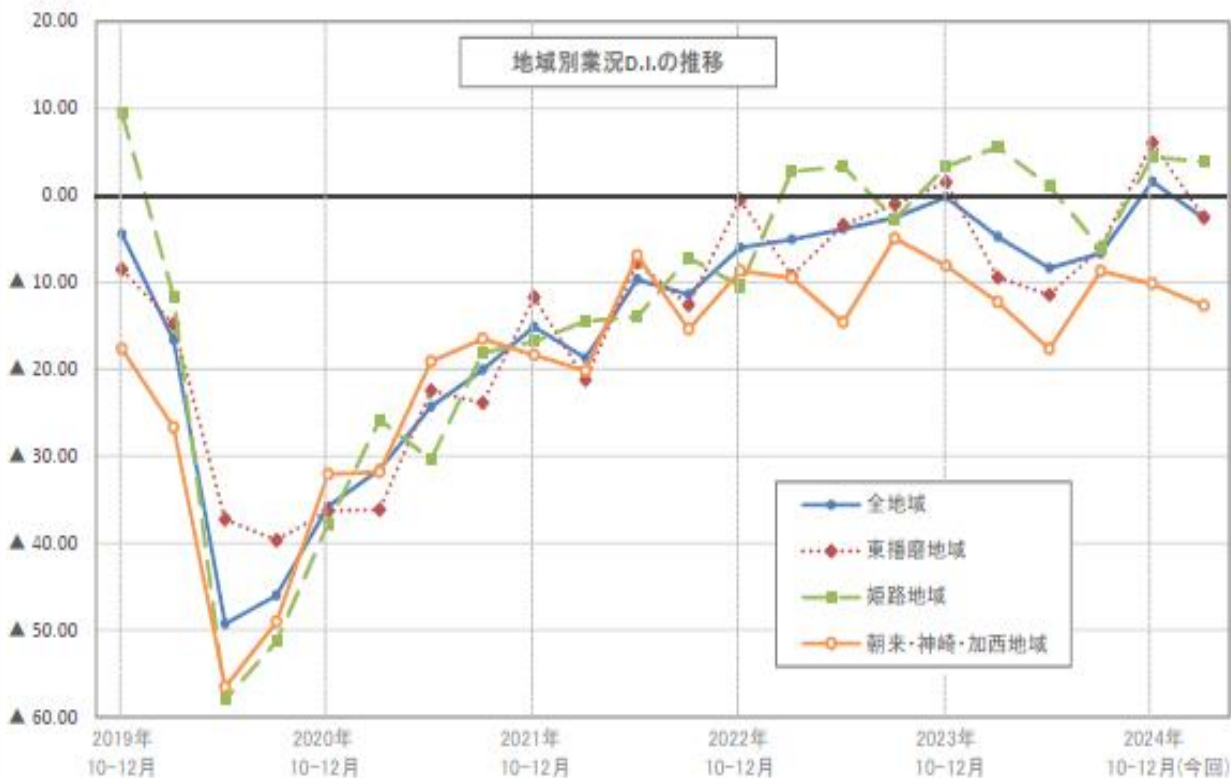
業種別業況D.I.の回答割合



営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が 6.06 と 12.12 ポイント上昇、姫路地域が 4.42 と 10.53 ポイント上昇、朝来・神崎・加西地域は▲10.17 と 1.47 ポイント低下しています。来期は全地域・各地域とも低下する予想となっています。

地域	調査数	2024年7～9月期	2024年10～12月期(今回)	前季比	2025年1～3月期(予想)	今期比
全地域	496	▲ 6.69	1.61	↑	▲ 2.62	↓
東播磨地域	198	▲ 6.06	6.06	↑	▲ 2.53	↓
姫路地域	181	▲ 6.11	4.42	↑	3.89	↓
朝来・神崎・加西地域	119	▲ 8.70	▲ 10.17	↓	▲ 12.71	↓



地域別業況D.I.の回答割合

